

事業番号	09 04 02	事業改善シート（令和4年度実施事業分）		<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	果樹振興事業	部局	農政部	課・室	園芸畜産課		
		実施期間	H19 ～	E-mail	enchiku@pref.nagano.lg.jp		
総合5か年計画（しあわせ信州創造プラン2.0）との対応関係							
重点目標	①労働生産性						
総合的に展開する重点政策	2-4 収益性と創造性の高い農林業の推進						

1 現状と課題

本県の果樹生産は、恵まれた気候や立地条件、高い技術力を生かし、ポテンシャルの高い県オリジナル品種を中心とした果実の生産が進みつつあるが、担い手不足や生産力が低下した果樹園の増加等により生産量の減少が進んでおり、果樹農家の稼ぐ力の向上に向け、戦略品種の拡大や、品質向上により経営の安定化を図ることが課題となっている。

ワイン用ぶどう生産は、全国1位の生産量となっているが、信州ワインバレー構想が目指す世界水準の良質なワインを醸造するためには、これまで以上に品質の高いワイン用ぶどうの生産技術の向上が求められている。

2 事業目的

- ・県果樹戦略品種等の栽培面積拡大・品質向上に向け、推進する地域、経営体、経営収支等を示した戦略を策定し推進を図る。
- ・ワイン用ぶどう生産者の技術力向上を図るため、栽培技術向上研修会等を開催する。また、新たに台木のウイルス病検査体制を構築し安定供給を図る。

3 予算のポイント・主な取組（当初予算又は補正予算時の実施予定）

①戦略に基づく果樹オリジナル品種等の生産振興

✓りんご「シナリップ」の生産振興

- ・高密度植栽培・新しい化栽培巡回検討会の開催（5回）

✓ぶどう「クイーンルージュ®」等の品質&認知度向上

- ・栽培管理研修会等の開催（15回）
- ・県内外市場でのトップセールスの開催（4回）
- ・高品質果実の生産出荷ガイドの作成（5,000部）


②ワイン用ぶどうの生産振興

✓高品質ワイン用ぶどう生産振興


- ・ワイン用ぶどう栽培技術向上研修会（3回）
- ・GI制度習得研修会（1回）
- ・ワイン用ぶどう栽培振り返り検討会（1回）

✓高品質台木の供給に向けたウイルス検査体制の構築


- ・ワイン用ぶどう台木のウイルス検査の実施支援




「クイーンルージュ®」の栽培管理研修会



知事会見による「クイーンルージュ®」のPR



「クイーンルージュ®」の生産出荷ガイドの作成



ワイン用ぶどう栽培技術導入検討

4 成果指標

（推移の凡例 ↗：改善 ↘：悪化 →：変化なし —：数値なし）

No.	指標名	単位	R2年度		R3年度		R4年度		R4年度目標値	達成状況	設定理由
			実績	実績	実績	推移	実績	推移			
①	果樹戦略品種等の栽培面積（シナリップ、クイーンルージュ®等）	ha	2,534	2,768	↗		2,943	↗	2,826	達成	果樹改植事業等により、生産者の経営改善や所得向上が見込まれる県オリジナル品種等の栽培面積の拡大を成果指標として設定。第3期県食と農業農村振興計画において、2022年度までに果樹戦略品種等の栽培面積を2,826haにすることを目標としている。
②	ワイン用ぶどう品種の栽培面積	ha	365	398	↗		430	↗	370	達成	需要拡大が見込まれる高品質なワイン原料ぶどうの生産拡大を推進するための成果指標として設定。信州ワインバレー構想グレードアップ版において、2022年度までにワイン用ぶどうの栽培面積を370haにすることを目標としている。

5 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計（予算現額）	うち一般財源		
R4年度	0	2,807	0	2,807	1,872	1,971	2.5
R3年度	0	2,836	0	2,836	2,547	1,390	1.5
R2年度	0	13,923	△ 12,066	1,857	1,816	1,063	1.5

事業番号	09 04 02	事業改善シート（令和4年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	果樹振興事業		部局	農政部	課・室	園芸畜産課

6 主な取組実績と成果

①戦略に基づく果樹オリジナル品種等の生産振興

✓りんご「シナリップ」の生産振興

- ・「シナリップ」の栽培現地研修会（4回）、現地調査（4件）
令和4年生産面積 105%（令和3年実績比）

✓ぶどう「クイーンルージュ®」等の品質&認知度向上

- ・栽培管理研修会等の開催（12回、240人）
- ・県内外市場でのトップセールス等の開催（東京1回、長野1回）
- ・「クイーンルージュ®」栽培マニュアルの作成（5,000部）
令和4年生産面積 114%（令和3年実績比）



「クイーンルージュ®」の現地ほ場検討会



東京・大田市場における「クイーンルージュ®」のPR

②ワイン用ぶどうの生産振興

✓高品質ワイン用ぶどう生産振興

- ・ワイン用ぶどう栽培技術向上研修会（6回、357人）
- ・ワイン用ぶどう栽培振り返り検討会（1回、97人）
- ・G I 申請手続等支援研修会（1回、48名）

✓高品質台木の供給に向けたウイルスフリー苗木供給体制の構築

- ・ワイン用ぶどう台木の需要に備えた、台木原母樹の維持管理の実施
令和4年生産面積 108%（令和3年実績比）



「クイーンルージュ®」の栽培マニュアルの作成



ワイン用ぶどうせん定研修会

7 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標①	果樹戦略品種等の栽培面積（シナリップ、クイーンルージュ®等）	R3年度推移	↗	R4年度推移	↗	達成状況	達成
栽培管理研修会や認知度向上に向けた販促活動により、シャインマスカットやクイーンルージュ®などの高級ぶどうの生産が目標を上回り、果樹戦略品種等の栽培面積が目標値を上回った。							
指標②	ワイン用ぶどう品種の栽培面積	R3年度推移	↗	R4年度推移	↗	達成状況	達成
ワイン用ぶどうの新規栽培者が増加する中で、栽培技術講習会の開催による生産者の技術力向上や苗木の安定供給によりワイン用ぶどう品種の栽培面積は目標値を上回った。							

8 今後の事業の方向性

(1) 令和4年度の取組実績、成果指標の分析及び県民の意見等を踏まえた課題

・県オリジナル品種の生産振興により、りんご「シナリップ」やぶどう「クイーンルージュ®」などポテンシャルの高い県オリジナル品種を中心とした生産が進んできた一方で、高齢化や担い手の減少から、5年間で樹園地面積は5%、販売目的の果樹経営体数は約20%減少しており、生産基盤を維持・強化し、産地力の向上を図る必要がある。

(2) 翌年度以降の事業改善の方策

県オリジナル品種の生産が進んできたため、品質向上に向けた技術向上、高単収が可能な栽培の導入により、生産基盤を強化し、果実産出額を増加させ、産地力の向上を図る。

①早期成園化・高単収等が可能なりんご高密度植栽の普及推進

- ・施肥管理や凍害対策等の栽培技術の平準化を図る現地研修会の実施
- ・県内の樹園地継承優良事例の普及拡大を図るため、メディアによる周知等を実施

②種無し・皮ごとぶどう等の栽培面積の拡大を推進

- ・「クイーンルージュ®」等の生産拡大を進める、新規就農者等向け栽培管理動画の配信
- ・栽培者等の生産意欲の高揚を図る、種無し・皮ごとぶどう生産振興大会の実施

事業名	果樹振興事業	部局	農政部	課・室	園芸畜産課
-----	---------------	----	-----	-----	-------

細事業 No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
1	高品質ワイン用ぶどう産地育成支援事業	367 千円	430 千円	473 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	栽培技術向上研修会等の開催	直接	「信州ワインバレー構想」に基づき、市町村や企業、各産地の生産組織等と連携し栽培技術向上研修会等を実施 ・ワイン用ぶどう栽培技術向上研修会（6回、357人） ・G I 制度習得研修会（1回、48人） ・ワイン用ぶどう栽培振り返り検討会（1回、97人）	
2	高品質苗木供給に向けたウイルスフリー苗木供給体制の構築	直接	高品質苗木の供給に向けたウイルス病検査体制を構築し、ワイン用ぶどうの品質向上を図った。 ・ワイン用ぶどう台木の需要に備えた、台木原母樹の維持管理の実施	

細事業 No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
2	信州新果実市場評価向上事業	248 千円	512 千円	688 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	県オリジナル品種等の生産振興	直接	県オリジナル品種等の市場評価向上に向けた安定生産及び省力栽培の推進 ・「シナリップ」の栽培現地研修会（4回）、現地調査（4件） ・「南農ナシ6号」、「スイートクリスタル」等県オリジナル品種検討会（各1回） ・省力栽培技術の検討会（3回）	

細事業 No.	細事業名	R2年度 決算額	R3年度 決算額	R4年度 決算額
3	「クイーンルージュ®」品質&認知度向上事業	0 千円	0 千円	810 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和4年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	栽培管理研修会等の開催	直接	「クイーンルージュ®」の品質安定に向けた栽培管理研修会等を実施するとともに、高品質果実の生産出荷を促進するためのガイドを作成した。 ・栽培管理研修会等の開催（12回、240人） ・栽培マニュアルの作成（5,000部）	
2	認知度向上PR	直接	県内外の主要市場にてトップセールス等を開催し、認知度向上を図った。 ・トップセールス等の開催（東京1回、長野1回）	